

# 職務経歴書

## 職務要約

過去5年間、データサイエンティスト・機械学習エンジニアとして多様な課題へのアプローチを実践してきました。現職での業務では、マイナポータルデータを利用した機械学習システムのプロジェクトに関与し、要件定義から設計を担当。AWSを中心に、セキュリティを考慮した設計スキルを磨いてきました。前職のコンサルティング会社では、課題の整理や提案活動を通じて、データサイエンスとKPIを連携させた事業改善の方法を学びました。

私はデータサイエンスの知見をシステム開発に結びつける過程や分析タスクの効率化に関心があり、その領域での経験やスキルを活かして貢献したいと考えています。データ分析やMLOps、機械学習システムの学びを続けており、同じ価値観を持つ方と働きたいと思っています。

## スキル

- 機械学習 (DL/NLP/Image Recognition)、統計学、因果推論
- 機械学習システムの設計、構築、及び継続的な改善
- インフラ (AWS/GCP/オンプレミス)、サーバーサイド、フロントエンドを含む Web アプリケーションの開発経験

## 開発環境/言語/ライブラリ

- AWS, GCP, Databricks
  - AWS: Sagemaker, ECR, Lambda, Athena, S3
  - GCP: Vertex AI, BigQuery, DataFlow, Cloud Run, Cloud Storage
- Python, R
- Pyspark, Pandas, scikit-learn, TensorFlow, PyTorch, MLFlow

## 資格

- ネットワークスペシャリスト
- 情報セキュリティ安全確保支援士試験合格
- Google Cloud Professional Data Engineer
- Google Cloud Professional Machine Learning Engineer

## イベント

- [MLOps 勉強会登壇](#)

- Databricks ウェビナー 登壇

## 職務経歴

### 株式会社 JMDC (2023/06/01 - )

- マイナポデータを用いた保険会社の審査システム構築
  - 期間: 2023/06/01
  - 概要: マイナポータルデータを用いた審査システムの構築
  - 担当: 要件定義・設計・開発
  - 環境・手法: AWS
  - プロジェクト人数: 12
- SageMaker 推論パイプラインを利用したレポート機能構築
  - 期間: 2023/07/01
  - 概要: SageMaker 推論パイプラインを利用した、製薬会社向けの調剤利用数のレポート機能開発
  - 担当: 設計・開発・テスト
  - 環境・手法: AWS SageMaker
  - プロジェクト人数: 5

### EY ストラテジーアンドコンサルティング (2022/09/01 - 2023/05/31)

- M&A データの分析
  - 期間: 2023/01/01 -
  - 概要: M&A を担当する部署の投資先企業探索をサポートするため、推薦システムを作成
  - 担当: フロントエンド開発アルゴリズム開発
  - 環境・手法: Python FastAPI Elasticsearch Logstash Kibana
  - プロジェクト人数: 5
- 中古車ディーラーが販売先の中進国に与える経済効果を算出
  - 期間: 2022/12/01 - 2022/01/31
  - 概要: 中古車ディーラーが販売先の中進国に与える経済効果を、貿易データや国勢調査データを利用して算出
  - 担当: データエンジニア データサイエンティスト
  - 環境・手法: 課題整理・プレゼン資料作成・統計的因果推論
  - プロジェクト人数: 7
- 財務モデル作成
  - 期間: 2022/12/01 - 2023/01/31
  - 概要: Enterprise Value を算出する財務モデルを作成
  - 担当: フロントエンド開発

- 環境・手法: Excel
- プロジェクト人数: 7

#### 株式会社日本経済通信社 (嘱託契約期間 3 年 2019/08/01 - 2022/07/31)

- データ分析基盤の設計・構築
  - 期間: 2019/10/01 - 2022/07/31
  - 概要: Databricks と協力し、日経アプリのパーソナライズ機能に利用するデータ分析基盤をの設計と構築を行う
  - 担当: データ基盤設計・データ基盤構築
  - 環境・手法: Databricks AWS GCP, Python, Scala, Spark, PySpark
  - プロジェクト人数: 7
- 推薦アルゴリズム開発
  - 期間: 2020/02/01 - 2022/07/31
  - 概要: 日経アプリのパーソナライズ機能のアルゴリズム開発
  - 担当: アルゴリズム開発
  - 環境・手法: Jupyter Notebook, TensorFlow, Pytorch, BERT, 協調フィルタリング
  - プロジェクト人数:
- 機械学習システム運用
  - 期間: 2020/06/01 - 2022/07/31
  - 概要: 推薦システムの機械学習運用の自動化や A/B テストによる効果検証などを行う
  - 担当: アーキテクチャ設計, クラウド開発, バックエンド開発
  - 環境・手法: AWS, Databricks, GCP A/B テスト, CI/CD, Go
  - プロジェクト人数: 7

#### 株式会社 aiforce solutions(2019/02/01 - 2019/07/31)

- スーパーマーケットの購買傾向の分析
  - 期間: 2019/04/01 - 2019/07/31
  - 概要: 大手商社の DX 事業部に常駐し、AI 活用に関する相談を各事業部、子会社から受ける
  - 担当: データサイエンティスト
  - 環境・手法: R, アソシエーション分析
  - プロジェクト人数: 3
- AI 学習プラットフォームを開発
  - 期間: 2019/02/01 - 2019/07/31
  - 概要: AI 教育用のプラットフォーム開発
  - 担当: バックエンド開発, フロントエンド開発

- 環境・手法: AWS,Bottle,Python,React
- プロジェクト人数: 5

#### 株式会社グリッド (2017/04/01 - 2019/01/31)

- DL ライブラリの画像モジュールの論文実装
  - 期間: 2018/01/01 - 2019/01/31
  - 概要: 自社制作の DL ライブラリの画像モジュールを担当
  - 担当: 機械学習エンジニア
  - 環境・手法: SSG,VAE,VGG
  - プロジェクト人数: 5
- 画像認識システム開発の FE/BE 開発
  - 期間: 2018/01/01 - 2019/01/31
  - 概要: 画像認識システム開発の FE/BE 開発
  - 担当: BE, FE
  - 環境・手法: Vue.js, Flask
  - プロジェクト人数: 5
- プラント制御の強化学習基盤
  - 期間: 2018/11/01 - 2019/01/31
  - 概要: 強化学習によるプラント制御 PJ のインフラを担当
  - 担当: データエンジニア, データ基盤設計
  - 環境・手法: Python, MQTT
  - プロジェクト人数: 3
- Fax 画像の分類モデル
  - 期間: 2017/04/01 - 2018/12/31
  - 概要: Fax 画像の分類モデルの作成及び、業務システムへの組み込み
  - 担当: データサイエンティスト
  - 環境・手法: OpenCV,Python, VAE,VGG
  - プロジェクト人数: 2

#### 株式会社 Cuon(2016/01/01 - 2017/03/31)

- 社内ポータルサイト作成
  - 期間: 2016/12/01 - 2017/03/31
  - 概要: サービスサイトの設計・構築及び PM を担当
  - 担当: データサイエンティスト
  - 環境・手法: OpenCV,Python, VGG

- プロジェクト人数: 2

#### 株式会社 AP コミュニケーションズ (2014/03/01 - 2015/12/31)

- 社内インフラの運用・保守
  - 期間: 2014/03/01 - 2015/12/31
  - 概要: 社内インフラの運用・保守
  - 担当: 運用・保守
  - 環境・手法: Windows Server
  - プロジェクト人数: 15
- 社内インフラの運用設計作成
  - 期間: 2015/06/01 - 2015/12/31
  - 概要: 社内インフラの運用設計作成
  - 担当: 設計
  - 環境・手法: ITIL
  - プロジェクト人数: 15

#### 日本通信株式会社 (2013/04/01 - 2014/04/30)

- 自社サービスサイトの設計・構築
  - 期間: 2013/04/01 2014/04/30
  - 概要: 自社サイトのサービスサイトを LAMP 構成で作成した
  - 担当: 設計, 構築
  - 環境・手法: Apache, Linux, MySQL, PHP
  - プロジェクト人数: 2